

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域協働によるマルシェ事業
事業主体 (連絡先)	中込商店会協同組合 佐久市中込 2-26-3 TEL 0267-62-5714
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 エ商業の振興
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,403,360 円 (うち支援金: 1,792,000 円)

事業内容

6月から年間9回、外部からの出店者を募り、商店街各店も協賛して中込マルシェを開催した。
8月には高校生による手づくりイベント「中込ストリートフェス」とフラダンスなどのステージイベントを中心とした「夕暮れマルシェ」を開催した。
10月にはハロウィンマルシェ、1月には岩手県のうまいもん市と同時に、3月には委託型フリーマーケット「もってえねえ市」と同時開催して相乗効果による集客を目指した。



【中込マルシェのようす】

【目標・ねらい】

- ①新たな来街客の増加
- ②中込で店を持つきっかけになる
- ③高校生との交流
- ④

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

マルシェに商店街の外から出店してもらうことで、ふだんは商店街にない魅力で集客し、中込の街を知ってもらうという機会になった。

空き店舗対策として、マルシェ出店者が中込商店街でお店を持つきっかけになれば、という目標はまだ実現していないが、出店者の意見を聞き今後のまちづくりに生かすことができる。

高校生に企画段階から参画してもらう中込ストリートフェスの開催により、商店街と高校生の世代間交流となった。

※自己評価【 B 】

【理由】

出店数はあまりふえていないが、毎回特長あるイベントで集客できた。高校生との協力したイベントもできた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度も毎回特長あるマルシェを企画して継続する。特に高校生のイベントには企画・準備・実施に自ら参画してもらい、成し遂げるむずかしさと達成感を知ってもらいたい。また商店街に愛着を持ってもらいたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある